

苫東環境コモンズの
活動をまとめて報告



haskap
NEWS LETTER

～コモンズの現地から発信する～

勇払原野のSPIRIT

コモンズの視線

ニュースレター第29号をお届けします。コモンズの活動は、NPOを設立してからだけでも13年目に入りました。コモンズとして雑木林保育などを現在も淡々と進めています。まだまだ道半ば。というよりそもそも地域の環境のケアはエンドレスなのでした。新事務局によると昨年度のここでの活動人数は約650人。年間50週余りとしても、春夏秋冬、毎週10数人が必ず参集して地道に、熱く、保育作業などをしてきた結果の数字です。

そんな地味な里山の営みですが、去年は早々に、あのJR北海道の車内誌がトップで取り上げ、12月には、北海道新聞が胆振日高版の「ここが聞きたい」というコラムで詳しい取材記事を載せました。そしてこのたび、道内の老舗放送局のラジオ番組が、SDGsをテーマにしたインタビューをしたいというオファーが来ました。わたしは「ええっ？はやりのSDGsですかあ？」と思わず笑いながら聞き返してしまいました。そして担当ディレクターは、実は関心を持って苫東コモンズを見てきた、とウソのような話をするのです。(笑い)

そうなんです。ごく最近有名になった短歌に、ある農夫が、「そんなこと、俺たちは毎日やってるよ」とSDGsを多少皮肉った作品があるように、身近な里山的環境は、日々の手入れを待っており、国連や国や自治体が何と言おうと、サステナブルにならざるを得ないのです。要は、人が、その身近な環境に関心を寄せることができるか、に尽きます。身の周りの環境を改善し、資源を無駄にしないで再利用する、これは当たり前のことです。(草苺)

NPO <http://hayashi-kokoro.com/commons00.html> 雑木林だより <http://hayashi-kokoro.com/zouki00.html>

TOPIC 1

大雪が納まってからようやく藪だし



年が明けて道内は数回、大雪に見舞われました。遠浅の現場も、全員集まったものの仕事にならない日が2日

あり、その都度、数えて卒寿を迎えている migita 会員に、トラクターで除雪してもらい辛うじて駐車場を空けてもらいました。



当然、スノーシューをはかないと現場にもたどり着けない状態が続き、作業もなかなか進みませんでした。

それでも雪が落ち着き始めた2月中頃から、多くない間伐材の運搬(藪だし)を完了し、4月から薪割りも開始しました。写真下は去年の薪に積もった雪。

TOPIC 2

コモンズの背景と地域課題解決の勉強会

当NPOは現在世代交代のさなかにあると折あれば発信してきましたが、実はコモンズがどのような必然性

で生まれ、どんな仕組みで動いているのか、詳しく出自と経緯を知っている人はもうほとんどいません。広い土地をある協定のもとで、かつ、一定の自由度を持って使わせてもらっている、そこにある責任と関係性は生半可なものではありません。



この背景と、コモンズの仕組みによる地域課題解決に関する内輪の勉強会を、12月11日の「山の

神」参拝の午後、遠浅公民会で開催しました。

冒頭、草苺事務局長が「苫東コモンズの仕組みの背後にある計画と制度～苫東計画と緑地について～」と題して、続いて会員の北大・中村太士教授が「自然災害からの復興と協働～コモンズの役割～」のタイトルで、それぞれ30分ほどのミニレクチャーを行い会員相互に質疑と意見交換を行いました。

TOPIC 3

事務局がバトンタッチ、分担も明確に

この4月、事務局員が一新しました。NPO設立時からこれまで事務局業務にあたって来た担当者・草苺事務局長が、稲葉理事の辞任にともない理事となり、山本太郎氏が事務局長に、卜部浩一氏が事務局員に就任したものです。二人とも50歳前後の働き盛りの現役サラリーマンですから、ほぼ20歳の若返りということになります。コモンズ会員になってまだ1年余りですが、この間すでに少なくない仕事を精力的にこなしてきた実績から、正式に引継ぎとなったもの。

コモンズでは毎週末のフィールドの作業のほか、経

理出納、広報、薪管理、作業段取り、広報など様々な雑事があるため、昨年末ごろから本格的に会員間の機能的分担も提案されてきたところ。今季は、migitaさんからお世話いただいた軽トラックの運用も加わるなど、役割分担の意味が一層強まります。

TOPIC 4

市の生物多様性専門家会議に参加



苦小牧市では、生物多様性の保全および持続可能な利用に資する施策の具体的展開を目指し、令和3年、生物

多様性に関する市民の懇談会と専門家会議を設けました（写真は市が広報用に作成したパンフ）。後者の専門家会議について、市の事務局から苦東コモンズ草苺事務局長に対し委員の就任依頼があり、11月18日の会議に本人が参加して意見を述べました。

委員はこのほか、コモンズの会員でもある中村太士北大教授と、NPOの設立前から顧問の立場でアドバイスと支援をいただいていた小磯修二北大公共政策院大学特任教授が、それぞれ自然科学と社会科学の分野の専門家として発言されました。

結果的に、7名の委員のうち3名が、苦東コモンズの関係者ということになりましたが、開発と自然保全が劇的にせめぎあってきた苦小牧の歴史の中で、コモンズ的な環境保全が地域課題解決にどのような意味をもてるか、さらに見守っていききたいところです。

TOPIC 5

大島山林の利用促進と勇払原野のブランド「雑木薪」の隠れた人気



大雪で足踏みした大島山林の雑木林の保育が、3月末でようやく今季の目途がつき、4月からは枝や切り株などの後始末を手掛け始めました。これは大島山林をより多くの人に利用してもらうために不可欠な修景作業で、人の美的センスと細かい手仕事が必要。

一方保育の過程で発生する丸太は林から運び出して、広葉樹100%の薪に加工して会員が利用中ですが、薪不足の今日、譲ってもらえないかの声も多く寄せられています。というのも、ナラが4割の広葉樹で、か

つ完全に乾燥しているため着火も火持ちも抜群のため、口コミによって生まれた静かな人気も背景。また、このような当たり前のリサイクルがSDGsの理念に叶うと、思わぬところから注目されてきました。

令和3年9月以降の主な活動

*行事末尾の数字は参加者数

- 09/25 大島山林 薪小屋制作と薪づくり 9
 - 10/02 =フォーラム中止→大島山林薪作業 11
 - 10/09 大島山林の薪づくり作業 11
 - 10/16 " " 15
 - 10/23 理事会と総会（静川の小屋） 9
 - 10/30 チェンソーのスキルアップ相互研修（静川の小屋） 18
 - 11/06 静川小屋周辺で自主研修&育林コンペで各自作業 18
 - 11/08(株)苦東との打ち合わせ（事務局） 3
 - 11/13 大島山林で薪積み完成 14
 - 11/20 育林コンペ 14
 - 11/27 育林コンペと大島山林の選木作業（担当者） 12
 - 12/4 大島山林の薪ヤード完全終了と除間伐に着手 16
 - 12/11 山の神参拝、コモンズ勉強会、忘年会 17
 - 12/18 大島山林の保育 14
 - 12/25 大島山林の保育 12
 - 1/8 仕事始め@大島山林 12
 - 1/15 sat 大島山林の保育 11
 - 1/22 sat 大島山林の保育 10
 - 1/29 sat 大島山林の保育 11
 - 2/05 sat 大島山林の保育（スノモによる藪だし開始） 14
 - 2/10 thu 除雪 1
 - 2/11 fri 大島山林の保育（有志） 5
 - 2/12 sat 大島山林の保育 13
 - 2/19 sat 大島山林の保育 15
 - 2/23 wed 静川小屋の冬季点検 1
 - 2/24&25 THU & FRI 除雪 1+1
 - 2/26 sat 大島山林の保育と藪出し 10
 - 3/05 sat 大島山林の保育と藪出し 12
 - 3/12 sat 大島山林の保育と藪出し 16
 - 3/20 sun 大島山林の保育と藪出し & 理事会 13
 - 3/26 sun 大島山林の保育と藪出し 9
 - 4/2 Sat 大島山林の保育と藪出し 13
 - 4/9 Sat 薪割り、薪積み、大島山林の保育（片付け） 13
 - 4/16 Sat 薪割り、大島山林の保育（片付け）、薪配達 12
 - 4/23 Sat 薪割り、大島山林の保育（片付け）、理事会 12
- *昨年度 4/1—3/31 の実稼働人数は延べ634人でした。

編集後記

■一昨年の斎藤幸平著『人新世の資本論』が出た頃からコモンズへの注目度が上がったように見えますが、今年は『共有地をつくる』（平山克美著）が出て、当然の道筋として土地だけでなく人が憩う空間までイメージがひろがってきている感あり。さらに拡大すれば共有の概念には争いを克服する知恵も試されているのではないのでしょうか？ ■続いても書籍ネタ、石牟礼道子氏の名著『苦海浄土』を読んで、苦東緑地が水俣など4大公害の反省を背景に生まれたことに思いをいたしました。そのパターンリズミ的な先行インフラを考えれば、緑地利活用がまだまだ成熟どころか道半ばにあることも納得できます。もしかしてワイズユースは永遠の課題かも。 ■勇払原野の風土を楽しむコモンズ休暇がフキノトウと川エビでシーズン開始。今年はハスカップサンクチュアリでの花と野鳥観察、ジュンサイ採りなども加えます。味覚だけでなく、加齢で失うという「気」を山菜などから補う意図もあり。（草苺）

お問い合わせとご感想
NPO 法人 苦東環境コモンズ 草苺 健
 雑木林&庭づくり研究室 <http://hayashi-kokoro.com/>
kt-884-556@nifty.com 携帯 090-6999-2765